

## Lesson 16 New Lick E Blues

### Lesson 16 エンディングでの E ブルースリック

今回は 12 小節ブルースの最後の部分で使うリックをやろう。

これは今までに学んできたトリプルストップなんかと一緒に使うと一つの流れが出来るよ。

まず、B7 コードの次でこんな感じで弾くよ。

-playing(0:28)-

以前やったダブルストップや 1 弦開放 E を交えたトリプルストップを使うよ。

-playing(0:40)-

ブルースと言えばペンタトニックスケールだけど、とても手に馴染みやすいスケールだ。(0:56)

そこから音を少し間引いて…(1:03)

もう一度ゆっくりとやってみよう。

-playing(1:10)-

(1:42)

実際には E コードから 2 つの音だけを弾いている感じだね。

-playing(1:50)-

#### 【注記】

- ・押弦するポイントについて Robben は様々な言い方をしていますが、ここでは「5 弦 3 フレット C」「6 弦開放 E」などの表記に統一します。
- ・翻訳モノにありがちな読み難さの一因となっている「直訳」を排除した結果、Robben の実際の言葉とは若干違った表現になっている個所がありますが、読者にとってのストレスのない自然な理解を促すためのものであり、Robben が言わんとしていることはそのままに、大局を損なうことのない翻訳を心がけました。
- ・モードの解説において「○○スケール」と「○○モード」の言葉の使い分けはせず、Robben の言に最大限忠実に訳しながらも、より理解をしやすいように、柔軟にそれぞれを言い換えて訳しているケースもあります。

翻訳 山岸敦